

●都市像●

ひと・まち・自然にやさしい高梁



●基本理念●

人の知恵とふるさとへの
思いを活かしたまちづくり

新たな発想や積極的に挑戦する
姿勢を大切にするまちづくり

自助・互助・公助を基本にし
た協働と連携のまちづくり



●まちづくりの柱●

基本方針



1 地域産業・地域資源を活かした 活力あるまち

- (1)農林水産業の振興を図ります
- (2)商工業の振興を図ります
- (3)観光振興を図ります
- (4)資源活用と多様な連携により新たな地域産業を育てます
- (5)雇用機会を拡充します
- (6)定住を推進する環境づくりを進めます

2 美しい自然環境と快適な生活基盤 が調和した共生のまち

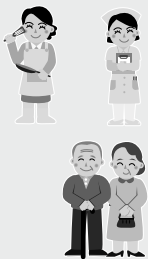
- (1)美しい自然環境を守ります
- (2)環境にやさしいまちづくりを進めます
- (3)安全なまちをつくります
- (4)環境に調和した社会基盤整備を進めます
- (5)公共交通体系を整えます
- (6)情報基盤の多様な活用を進めます

3 心のつながりを大切に支えあい 助けあう安心のまち

- (1)安心して子どもを産み、育てることのできる環境を整えます
- (2)健康に暮らせる生活を支援します
- (3)地域医療体制を充実します
- (4)生涯現役で活躍できる仕組みをつくります
- (5)みんなで支え合い助け合う地域福祉活動を進めます

4 地域文化と心豊かな人^{はくく}を育むまち

- (1)心身ともにたくましい子どもが育つ学校教育を進めます
- (2)生涯学習の機会を広げます
- (3)地域の伝統や文化を維持向上します
- (4)スポーツの振興を図ります
- (5)地域と一体になった学園文化交流都市づくりを進めます
- (6)人権を尊重する意識を高めます



5 市民と行政の協働と連携で自立するまち

- (1)市民が主役のまちづくりを進めます
- (2)多様な交流活動を進めます
- (3)市民にとって身近な行政をめざします
- (4)行財政改革に取り組みます



●構想の推進方針●

土地利用方針 協働のまちづくり方針 行財政運営方針

12月定例市議会

12月定例市議会が、12月3日から22日まで20日間の会期で開かれました。

平成21年度一般会計補正予算案など34議案等を上程し、原案どおり可決されました。

【可決された主な議案】

▼高梁市農業振興基金条例：
財団法人成羽町振興公社の解散に伴う清算残余金を財源とする基金を設置し、本市の農業振興を図る

▼高梁市農業研修宿泊施設設置条例：農業研修宿泊施設(備中町平川地内)を設置する

▼高梁市学校教育振興基金条例：
例：伊藤謙介さん(京都市在住)から寄附を受けたことによ

り、基金を設置し、市立小学校および中学校の学校教育の振興を図る

▼高梁市新総合計画の基本構想について：高梁市新総合計画を策定し、総合的かつ計画的な行政運営を図る

▼工事請負契約の締結について：高梁西地区ケーブルテレビ網整備工事2工区の工事請負契約を締結する

▼人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて：大内睦子さん(巨瀬町)、廣金愛子さん(宇治町本郷)、多久敦子さん(成羽町下原)、川上由美子さん(成羽町布寄)、真部靖子さん(備中町西油野)を推薦



ふるさと回帰のきっかけづくりのため 同窓会開催経費を助成

市は、定住を促進し本市人口の増加と地域経済の活性化を図るため、ふるさと回帰のきっかけをつくることを目的として、予算の範囲内で同窓会の経費を助成します。

◇対象となる同窓会

同じ学校の卒業生が、当時を振り返るために集まるものであり、次のいずれにも該当するもの

- ①高梁市内で開催されること
- ②10人以上の出席で開催されるもので、市外居住者が出席者全体の3割以上のもの

◇助成の条件

- ①市外居住者への案内に、市の配布する定住パンフレット等を同封すること
- ②同窓会の中で、市が示すマニュアルによって、定住について説明すること

◇助成金の額

出席人数に1,000円を乗じて得た額とし、5万円を限度とする。ただし、同じ同窓会への助成金の交付は3年に1回を限度とする

◇申請

同窓会開催予定日の7日前までに、申請書を提出してください。

※申請書は企画課に備えてあります。市ホームページからもダウンロードできます。

■問い合わせ・申請先 企画課定住推進係(TEL)0282)